

【ドセタキセル+S-1療法について】

お薬の名前と治療のスケジュール(副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、**次回の治療開始を延期することがあります。**)

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
薬の名前	作用	点滴時間																					
グラニセロンバッグ デキサート注	吐き気止めです	15分																					
ドセタキセル注	抗がん剤です	1時間																					
生理食塩液																							
エスワンタイホウ	抗がん剤です	朝食後																					
		夕食後																					

15日目の夕食後以降は、お薬が余っていても、内服せずに保管しておき、次回の外来受診時に持参してください。

1回 錠

治療による副作用

：注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
自覚症状	食欲不振・吐き気																						
		吐き気が起こることがあります。我慢せず、吐き気止めの薬を使いましょう。																					
	口内炎																						
		口の中が荒れて痛みが出ることがあります。刺激物は避けて、歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行きましょう。																					
	味覚障害																						
		食事の味が分かりにくくなる可能性があります。																					
	手足のしびれ																						
		手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																					
	むくみ																						
		治療回数が増えると生じることがあります。気になる症状がありましたらお知らせ下さい																					
	皮膚・爪症状																						
		皮膚に痒みや発赤、爪の変色、痛みなどの症状がありましたらお知らせ下さい。																					
筋肉痛・関節痛																							
	肩や背中、腰や腕などの筋肉が痛くなったり、関節が痛くなることがあります。																						
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																							
	治療開始2週間後から抜け始めます。頭皮の清潔を保つようにしましょう。																						
下痢																							
	便の回数が多くなったり強い腹痛をとまうことがあります。1日4回以上、水のような便が出るときは病院に連絡して下さい。																						
手足症候群																							
	手足がチクチク痛い、赤く腫れる、ひび割れ、水疱が生じることがあります。保湿剤を使い手足の乾燥を予防しましょう。																						
色素沈着																							
	肌が黒ずむことがあります。長袖や帽子などを用いて、日光など紫外線には注意してください。																						
流涙(涙が出る)																							
	涙がでたり、目の充血、目が痛い、物が見えにくい、目がかすむなどの症状が出ることがあります。																						
検査値	白血球減少																						
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。37.5度以上の発熱時はお知らせ下さい。																					
	赤血球減少(貧血)																						
	めまい・ふらつき・立ち眩みなどの症状がでたりするので注意しましょう。																						
血小板減少																							
	鼻血や歯ぐきから血が出やすくなる可能性があります。普段よりも長めに止血するようにしましょう。																						



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせ下さい。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどがありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。